

# 小さな違和感から見た私たちのジョーシキを話し合おう

会の趣旨説明や自己紹介のあと、日本に暮らす3人の外国人が日頃感じている違和感について話し、その後、お茶とマフィンを手に取り、5、6人ずつのグループに分かれて、交流会を行いました。3人のトークには共感する部分もあり、その後の会話も盛り上がりました。

## 日本で「えっ」と思ったこと

林さんは、韓国籍で中国やカナダで過ごしたあと、日本人の男性と結婚し、日本へ移り住みました。空気を読むことを重要視する日本人の同調圧力について感じたことを話してくれました。



日本に15年以上住んでいる中国人の陶さんは、自身のアイデンティティーやコミュニティとの繋がり的重要性を語りました。



インドネシアから来たソフィアさんは、日本の書類手続きの煩雑さや、言葉もかけず急に肩に触れられて怖い思いをした経験などを話しました。

## いざ、対話の時間

例えば、イエスカノーか判断の難しい「いいです」や「大丈夫」などの日本語の曖昧表現が、もどかしいけれど、便利でもあるという話や、仲良くなれば親切だけど知らない相手に無関心なのはなぜなのか、レジに立つ店員に気軽に挨拶できる文化があればいいのに、という意見が出ました。

思わず「えっ」と言ってしまうような違和感や、「なるほど」と納得してしまう慣習、どうしてそうなってしまうのかという社会背景に至るまで、たくさんの意見が交わされました。



## ふり返って - 日本人も日本人らしさに違和感?! -

イベントの最後には、参加した一人ひとりが感想を話し、会を締めくくりました。

外国人の体験から客観的に日本人らしさを語ってみると、案外、口に出さないだけで、日本に生まれ育った日本人も、同じように違和感や居心地の悪さを感じているということがわかりました。対話を通して、はっきりと自分の気持ちを断言しないのは、相手に対する優しさかもしれない、など、いわゆる日本人らしさが良い面も悪い面も持ち合わせていると気づくことができました。

共通点もあり、新たな視点もあり、イベントを通して多くの気づきが生まれました。

## 協力団体

NPO 法人 Sharing Caring Culture

外国人親子と日本人の交流の場をつくる

<http://www.sharingcaringculture.org/>

認定 NPO 法人地球学校

日本語学習を通して多文化交流を推進する

<https://chikyu-gakko.org/>